

Think the Peace 2018 平和を考える 市民のつどい

入場無料

8月4日(土) SAYAKAホール・小ホール

映画 ①この世界の片隅に 入替制

[1回目] 開場/午前9時15分 開演/午前10時
[2回目] 開場/午後1時 開演/午後1時45分

18歳のすすさんに、突然縁談がもちあがる。良いも悪いも決められないまま話が進み、1944(昭和19)年2月、すすさんは呉へと嫁にやって来る。呉はそのころ日本海軍の一大拠点で、軍港の街として栄えていた。見知らぬ土地で、海軍勤務の文官・北條周作の妻となったすすさんの日々が始まった。配給物資がだんだん減っていく中でも、すすさんは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。1945(昭和20)年3月、呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すすさんが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。そして、昭和20年の夏がやってくる――。

原作/こうの史代
監督/片淵須直

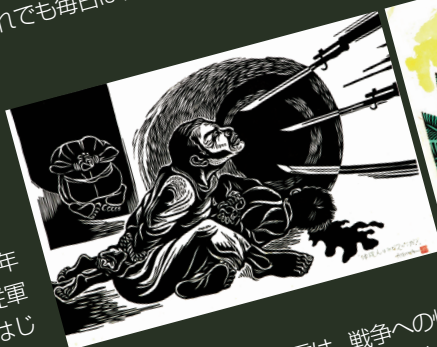


主演: のん 原作: こうの史代 脚本: 宮本紗子 音楽: コトリコ 監督: 片淵須直
日本中の強い絆で結ばれ、100年後も伝えたい、希望のアニメーション
konosekai.jp
© こうの史代・双葉社/『この世界の片隅に』製作委員会

展示 ②儀間比呂志作品展

午前9時15分～午後4時30分・小ホールホワイエ

儀間比呂志(ぎま ひろし) 1923(大正12)年～2017(平成29)年
沖縄生まれ。18歳から約3年間をテニアンで過ごす。海軍に従軍
後、横須賀で終戦を迎える。戦後、大阪を拠点に制作活動をはじ
め、版画を中心に数多くの作品を生み出す。1956(昭和31)年か
らは沖縄で取材を続け、人々の暮らしや祭りといった日常風景、
沖縄戦やアメリカ軍基地問題などをテーマとした作品を数多く描いた。沖縄戦体験者の証言は、戦争への憎しみと怒りを抱かせ、ライフワーク
としてこの主題を描き続ける原動力となった。今回は立命館大学国際平和ミュージアムに寄贈されたコレクションから9作品を展示予定。



立命館大学国際平和ミュージアム所蔵

参加無料

親子で学ぶ平和スタディツアー

親子で語り部の伝える戦争体験を聞き、戦跡を見学し、平和について学びます。参加する人は、8月4日に開催する「平和を考える市民のつどい」で上映する映画「この世界の片隅に」の1回目に優先的に入場できます。

とき 8月11日(祝)午前9時～午後4時
ところ ピースおおさか、大阪城公園(大阪市中心部大阪城)
対象 市内在住・在学の子供4～6年生と保護者
コース 大阪狭山市役所～大阪城周辺フィールドワーク～昼食～ピースおおさか見学、語り部さんによるお話し～大阪狭山市役所
定員 おおむね10組20人(先着順)
持ちもの 食・飲みもの
申し込み 19日(休)までに、住所・名前・生年月日・電話番号・メールアドレスを電話で市民相談・人権啓発グループへ。ファクシミリ(FAX366-0051)または電子メール(jinken@city.osakasayama.osaka.jp)も可。

夏のおはなし会

平和に関する本の読み聞かせ
とき 8月5日(日)午前11時～11時40分
ところ 図書館・おはなしの部屋
協力 さやまおはなしの会

原爆死没者の慰霊と平和祈念黙とうを

昭和20年8月6日広島に、9日長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われました。両市では、それぞれの日に原爆死没者のめい福と世界の恒久平和を願う式典が開かれ、原爆投下時刻に合せて1分間の黙とうが捧げられます。皆さんも職場や家庭で黙とうをお願いします。

8月6日(月)午前8時15分、8月9日(木)午前11時2分

問い合わせ 市民相談・人権啓発グループ